



発行所
群馬県館林市尾曳町6-1
群馬県立館林女子高等学校
同窓会
印刷所
株式会社
東京広告



同窓会長 仁田 征子

「諦めない」

（あいさつ）

同窓会員のみな様におかれましては、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症により同窓会の行事も全てなくなり、自粛生活を強いられた一年間だったと思います。コロナウイルスがどんなものか解らないまま対応に迫られていましたが、日常をどう送ったらいいか、どんなところに気をつけたらよいか、少しずつ解明されてきました。SNSなどで飛び交う情報は、何が嘘で何が真実なのか、疑心暗鬼に心が振り回されてしまうような怖い気持ちになりました。

著名な方がコロナで亡く

なつたことをニュースで知り、身近なところに潜む、見えない恐怖を覚えました。

そのような大変な中でも、リモートや分散登校、分散出勤などの工夫をしながらここまで来ました。東京オリンピックも一年の延期が決まりました、日本中が沈んでいた一年だったと思います。それでも工夫を凝らし、生きる術を見つけてたくさんの方が頑張っています。諦めずに手を取り合って行けたらと思います。

ところで、三月三十日に東京五輪の聖火リレーが群馬県でスタートしました。館林のつつけ丘公園の広場でもセレモニーが行われ、八時三十分頃、第一走者の見城美枝



子さんがスタートしました。応援で集まった市民の間をゆつくりと手を振りながら笑顔で走り、次の人に聖火を渡しました。コロナウイルス感染症対策で声援を送ることはできませんでしたが、拍手と日本国旗が振られていました。

見城美枝子さんは、本校の同窓生であり、開校記念式典では、過去七回の講演をしてくださいました。創立百周年式典では、特別功労賞を受けて戴きました。現在もジャーナリストとして、また青森大学副学長として活躍されています。暗いニュースが続く中、久しぶりに明るいニュースに触れることができ、とても嬉しくなりました。

さて、今年七月に母校で文化祭（友誼祭）が開催される予定です。同窓会も参加することになりました。感染症



校長 和泉 昇

今、学べることへの感謝の気持ちを忘れずに

予防対策もきちんと考え、会員のみな様に安心して来場していただけるよう計画を進めています。作品展示が主になりますので、会員のみな様のご協力を心よりお願い申し上げます。

まだまだ安心はできませんが、くれぐれもご健康にお気をつけください。みな様と笑顔でお目にかかれる日を楽しみにしております。

令和二（二〇二〇）年度末の人事異動により、本校に着任いたしました校長の和泉昇（いずみ のぼる）でございます。どうぞよろしくお願いたします。

同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動の充実にご理解とご協力をいただいていることに対し、感謝申しあげます。

誠に僭越ではございますが、この場をお借りして、始業式の時に二、三年生に話したことを書かせていただきます。

私の母は、三年前の夏、八十一歳で他界しました。厳しい母でしたが、時々、「私も女子校に通いたかった。もう一度生まれ変わるなら、今度

こそ女子校に通いたい。」と口にしていました。女子校というのは本校のことです。実は、母が中学校三年生の時、母の母（私の祖母）が体調を崩し、母が代わって家事をしなければならなくなったため、進学を断念せざるを得なくなったのです。最近の言葉で言えば、ヤングケアラーということになるのでしょうか。しかし当時は、母の同級生の中にも、家庭の事情で進学を断念する生徒が大勢いたということを聞いています。

私は、私の母のような気持ちを持ってきている人の分まで、本校に入学できた生徒一人一人に進路実現に限らず、人として成長してほしいと強く思

っています。何もブレッシヤーをかけるつもりはありません。日々、周囲の人への感謝の気持ちを忘れず、毎朝、元気に登校し、友人と仲良く学校生活を送ってほしいと思っています。

高校時代は、青春真っ只中の時期です。その時期を経験した人たちからは、「高校生はいいね、若いってうらやましいね。」などと言われます。しかしながら、かつての自分がそうであったように、当の高校生本人は、その本当の意味での良さがわからない。と言うよりも、目の前にある悩みがあまりにも大きくて、どうしたらいいのかわからないという状況にあるのだと思います。

そんな時は、決して一人で悩み苦しまず、すぐそばにいる誰かに相談してほしいと思います。人は、向上心があるから悩み、迷い、困るのです。周囲にいるほとんどの人がそういう経験をしてきているはずですから、生徒は遠慮することなく、人生の先輩に相談してほしいと思います。一方で、生徒の周囲にいる大

人には、生徒への声かけをはじめ、困っている生徒の相談に乗ってほしいと思います。

今年度、本校は創立百四周年を迎えます。本校が地域の伝統校としての役割を果たしつつ、これから大きく変わっていく時代に適応できるよう、



いあいあつ
事務長 菊地 隆

校長として学校教育活動の充実に取り組んで参る所存です。結びに、今後とも、本校の発展のために引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。あいさつの言葉とさせていただきます。

深い学び」の視点から、生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成することがポイントとされていますが、御存じのとおり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、既存のグループワークは難しくなり授業環境も大きく変わろうとしています。また、昨年度の中央教育審議会答申では「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、全ての子どもたちの可能性を引き出す。個別最適な学びの実現に向けて、今後その実現に向けて学校現場も動いていくこととなるでしょう。こういった変

この度の人事異動で事務長として着任いたしました。館林女子高等学校には、事務職員として平成十年度より平成十七年度までの八年間お世話になったことがありますので、縁の深さを感じるとともに、とても懐かしく感じております。以前とは違った立場で学校運営に携わることとなりますので職務の重さに身の引き締まる思いですが、誠心誠意努めさせていただきますので、一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、移行中の新学習指導要領では「主体的・対話的で



正しく 高き 御教えを
前校長 長谷川 充

革のなかで、生徒たちは勿論のこと実際に現場で取り組まれる教員のため、学校事務職員に何が求められ何ができるのかを考え、学校運営のためにお手伝いさせていただきます。二十年前と変わらぬ素直で明るく元気な生徒たちの営み

教頭として二年間、校長としてさらに二年間、延べ四年間、館林女子高校にお世話になりました。子どもたちは明るく素直で、先生方は皆熱心で、学校の関係者の皆さんは皆協力的で、学校の雰囲気がとてもよく、幸せな日々を過ごさせていただきました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、様々な教育活動、部活動や学校行事が制限され、同窓会活動も総会が書面によるものとなり、例年同窓会の皆さんにも参加をいただいていた三年に一度の文化祭は延期され、さらには観劇会

が続いている様子を拝見できるのは、ひとえに百年の歴史を誇る本校同窓会の皆様の支えがあるからと存じます。これからも相変わらず同窓会の皆様の御支援・御協力をいただけるよう尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

なども中止になりました。そうした中で同窓会の皆様には学校の教育活動の充実、発展のためにご理解ご協力をいただきまして、この紙面をお借りして、厚く感謝申し上げます。

コロナウイルスへの対応で、一番残念だったことは本校の素晴らしい校歌を歌う様々な機会が奪われたことです。素人考えながら、館林女子高校の校歌は、他校の校歌と比べて、曲調や歌詞が崇高で、歌い終わったときに、凜とした静かな決意が胸に湧き起こってくるように感じていました。その校歌の歌詞に「正しく高き

御教えを 常にわれらは守るなり」との説があります。この校歌を聞いてから、ずっとこの「正しく高き御教え」とは何かと考えていました。

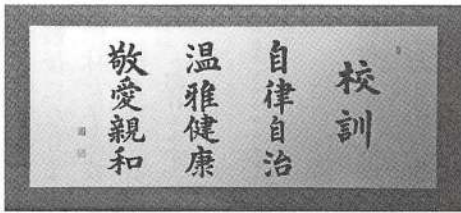
真(ま)先に思いついたのは、本校の校訓である「自律自治 温雅健康 敬愛親和」です。正しく高き御教えにふさわしい校訓です。しかし校歌の作詞者がこの校訓を強く意識して作詞をしたのかは定かではありません。それならば、この歌詞の中に歌われている「望みに燃えつ、微笑みつ、未来に生きる。赤き誠を内にして、人のこの世を生きる」ということかとも考えました。はたまた、校長室に掲げられている新渡戸稲造先生の書による「Boys Be ambitious」のことでしょうか。

これは館林女子高校が創立された年に寄贈されており、校訓や校歌よりも前に掲げられていたはずで、女子教育の走りである館林女子高校の生徒に対して、大きな志をもって学ぶこととは、最も大切なことにも思えます。

私は、三月末で退職し、四月からは悠々自適な生活を送っています。三月までは、朝、

目が覚めると何時までに行き何をするか決まっていたのに、今は、日々のスケジュールを自分の意志で決められる生活を送っています。逆に言う、当たり前前のことですが、自分で決めなければ何も起こりません。何かに参加することも、誰かから何かを相談されることも起こりません。今さらながら、私にとつての「正しき高き御教え」は館林女子高校という場、空間において体験した様々な事柄、生徒や先生方をはじめとする出会ったすべての人々方からの学びであった、館林女子高校に居て、私の周りで起こったすべてが御教えであったと実感しています。本当にお世話になり、

ありがとうございます。校訓の健康とご活躍、館林女子高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



ごあいさつ

前事務長 萩口勝男

令和二年度末の人事異動により、太田フレックス高校へ異動となりました。「館女」では二年間勤務いたしましたが、校長先生をはじめ教職員の皆様、同窓会並びにPTAの皆様を支えられて、どうにか職務を全うすることができました。

お世話になりました

泉 則子(保体)

改めて感謝申し上げます。館女には特別支援学校からの異動で、一般的な高校生の学校での活動を久しぶりに見て、元気な姿から、私自身も元氣やエネルギーを分けていただきました。心残りとしては、初年度の

館女にお世話になり、十二年が過ぎてしまいました。毎年同窓会本部役員の皆様には、大変お世話になりました。職員の皆様、お世話になりました。そして多くの同窓生や生徒の皆さんに出会えたことを大変嬉しく思っております。同窓会行事では、入学式、同窓会総会、観劇会、開校記念式典、創立百周年記念式典、卒業式、文化祭と、どれも同窓会本部役員の方々と一緒に事務局の一員として活動させていただきました。職員であ

りましたが、同窓生でもあり行事等は思い出深いです。特に創立百周年記念式典の準備では、館女の歴史を改めて知ることができました。数多くの先輩方の足跡として、大正時代の戦後に至る日本の変動の時期、白鉢巻をし袴姿での制服ができる前のセーラー服姿での学校生活を送られたことが特に印象に残りました。また、戦時下の中、教練と言われる授業がおこなわれ、訓練に臨む写真を見るとなぜか

末からのコロナ禍に影響され通常の学校活動を行うことができず、生徒の皆さんに対してもしてあげられなかったという思いがあります。自分としましては、特別な状況への対応を貴重な経験として、定年まで残り少なくなっておりますが、今後の仕事に生かしていきたいと考えております。最後にありますが、館女並びに同窓会の、ますますのご発展を祈念いたします。

目頭が熱くなってきました。現代の豊かな時代と比べてしまうからでしょうか。

この十二年間で、「館女っていい学校だな」と思ったところは、校舎がきれいで、落ち着いており安全であるという



泉先生 萩口先生 仁田会長 長谷川先生

こと、先生方職員の皆様や生徒の皆さんが優しく、心持ちがよいというところです。転勤して離れてみて、館女の良さをしみじみと感じております。時間がありませんたら、

館女の歴史百年史を覗いてみてください。最後にあります。最後になります。この先もずっと輝き続けることを心より願っております。

役員
役だ

役員を受けて

小曾根

万裕子 (昭和46年度卒)

初めまして、令和二年度より、同窓会本部役員をさせて頂くことになりました。微力ではありますが、精一杯務めさせて頂きますので、よろしくお願ひします。

書館フェスティバルの行事のバックヤードツアーに参加したところ、蔵書の置いてある書庫の奥深い所に『想樹』が保管されていました。とても懐かしく、忘れていた文芸部の事が思い出されました。私の作品の載っている号もあり、顔から火が出そうな作品なので、周りの人に気付かれないよう書棚にそっと返しました。そして、今回役員のお話を聞き、母校との縁を感じています。思いがけない出会いを楽しみに役員をさせて頂こうと思ひました。どうぞよろしくお願ひします。

館女在学中は、文芸部に所属しておりました。古い体育館の中にあつた小部屋を部室にして原稿を書いたり、作家や本についておしゃべりしたり、印刷室でガリ版刷りで文集を作ったりしていました。字が下手で文章を書くのが苦手で、ただ本が好きで入った文芸部でしたので、部室確保とガリ版刷りをする毎日でした。そして年に一度、印刷屋さんに原稿を渡して作成する本刷りの『想樹』は格別でした。その『想樹』に昨年出会ったのです。館林市立図書館の図

書館フェスティバルの行事のバックヤードツアーに参加したところ、蔵書の置いてある書庫の奥深い所に『想樹』が保管されていました。とても懐かしく、忘れていた文芸部の事が思い出されました。私の作品の載っている号もあり、顔から火が出そうな作品なので、周りの人に気付かれないよう書棚にそっと返しました。そして、今回役員のお話を聞き、母校との縁を感じています。思いがけない出会いを楽しみに役員をさせて頂こうと思ひました。どうぞよろしくお願ひします。



「夕日」尾曳橋橋脚に生徒有志が描く (H13)

本部役員を受けて

時崎

史江 (昭和51年度卒)

令和二年度より同窓会本部役員をさせて頂くことになりました。役員のお話を頂いたときは、同窓会のことはよく分からず大先輩の皆様もいらつしやるのにと考えてしまいました。娘は創立百周年行事に参加することができ、平成最後の年に卒業しました。娘を通して自分が高校生の時を思い出しました。私は高校時代軟式庭球部に所属し、卒業して四十一年以上経ちましたが、仲間や当時の先生方と今でも繋がっております。高校時代培ってきた絆・精神力・体力等学んだ事が多く、社会に出てからもその後の人生に大きく影響されたことを実感しています。心に残る思い出が沢山です、感謝の気持ちでいっぱいです。親子でお世話になった感謝の気持ちを今度は、役員の一員として頑張らせて頂くと思ひました。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症のために参加者の身を守ることを第一に考え、同窓会総会は資料送付という形で行いました。コロナウイルスという見えない敵によって、私達が生きていく上で、一番大切な人との関わりが薄れ、今までの日常生活がどんなに幸せであったのかと感じています。一日も早く同窓会の行事が行われ、皆様と一緒に楽しく過ごせる日が来ることを願うばかりです。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症のために参加者の身を守ることを第一に考え、同窓会総会は資料送付という形で行いました。コロナウイルスという見えない敵によって、私達が生きていく上で、一番大切な人との関わりが薄れ、今までの日常生活がどんなに幸せであったのかと感じています。一日も早く同窓会の行事が行われ、皆様と一緒に楽しく過ごせる日が来ることを願うばかりです。

役員活動は、今まで経験がなく不安な面もありますが、館女の発展と同窓会の繁栄のために皆様と力を合わせ希望の未来に向かって頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

役員よりひと言

令和二・三年度の同窓会本部役員です。新型コロナウイルス感染症のため、昨年同様、今年も総会を開催することができません。制限された中であつて、同窓会として学校と協力しながら活動して頂きました。同窓生の皆さまに直接お会い出来ないことは、残念ですが何より命が大切です。この状況を乗り越えて、再びお会い出来ることを信じて活動して行きます。どうぞよろしくお願ひいたします。



本部役員 (敬称略)

- 齋藤 弘子 (副会長)
- 時崎 史江 (監査)
- 荒井 幸世 (書記)
- 小曾根万裕子 (監査)
- 奥田 和子 (書記)
- 小林 茂代 (副会長)
- 神戸久美子 (副会長)
- 仁田 征子 (会長)
- 針谷 美之 (会計)
- 青木美智子 (副会長)

本部役員退任のご挨拶

早川 良子 (昭和37年度卒)

平成十二年六月から令和二年五月までの二十年間、同窓会本部役員を務めさせていただき、この度、無事に新役員の方にバトンをお渡しすることが出来ました。皆様のお力添えをいただき、同窓会活動を無事に務めることが出来ましたこと心より御礼申し上げます。

役員をさせていただいたことで、先生方や会員の皆様との交流を深めることができ大変嬉しく思っております。振り返ればあつという間の二十年間でした。その中でも、母校の『創立百周年』事業に立ち会えたことは、本当に思い出に残る出来事でした。

今年、新型コロナウイルス感染症のため、「館女」の同窓会創立以来、初めての資料送付での総会となり、会員の皆様とお会いすることなく退任しましたことは大変残念ですが、これからは一同窓生として関わられたらと思っております。

館女同窓会役員として

鎌田 直美 (昭和42年度卒)

私は、平成二十四年度から同窓会本部役員として活動させて頂きました。この八年間は女子高生の青春のエネルギーを戴きながら、とても有意義な時間を過ごすことができました。

入学式や卒業式・開校記念式典文化祭など学校の行事にも同窓会役員として参加することができ、私が館女生だった当時を懐かしく思い出すが、でき参加することが楽しかったです。

特に平成二十九年には、創立百周年開校記念式典を開催し、役員として関わりを持つことができたのはとても光栄なことでした。二年掛かりで会議をしながら資料をまとめたり準備を進めてきました。

式典当日、現館女生のキビキビとした行動のお陰で厳かな雰囲気の中、盛大な式典を行うことができました。そんな生徒達をみて、現在の生徒は昔の私達よりとてもしっかりしており「おとなだなあ」と、感じました。協力してく

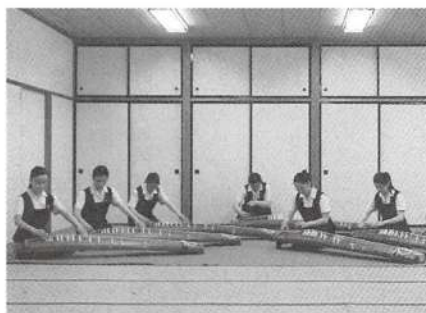
れた生徒の皆さんや同窓生には心から感謝をしております。毎年六月に行われていた同窓会総会では、懇親会も行われ、アトラクションとして、マンドリン・ギター部や箏曲部、吹奏楽部などの演奏が行われました。私も在学中、箏曲部に所属していた今もお稽古を重ねているので、一緒に演奏できたことは良い思い出です。私が箏曲をずうっと続けてこられたのは、高校時代の体験や考え方が影響し、それが人生の基盤となる大きな力があつたからだと思えます。

令和元年度の開校記念式典の講師の瀬谷ルミ子先生は、高校生のとき何気なく読んだ新聞記事からのヒントを得て、現在は世界の難民支援のために活動していると話されました。高校生の三年間はとても重要な時期であると改めて感じました。

一方、同窓会主催の観劇会は、懐かしい同期生や友人たちと接することができ、毎年とても楽しみにしていました。その中でも、市川猿之助主演のスーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」は、豪華な舞台装置や迫力ある演技でとても印象に残っています。

私が館女を卒業して半世紀になりますが、この年齢になっても館女の生徒や同窓生と触れ合うことができ、この上ない喜びであり、百周年を迎えた伝統ある館女の同窓生の深い絆を感じます。これからも母校のご発展と同窓生のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

職員の皆様、同窓生の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。



箏曲部 (畳替えした同窓会館で)





「館女の女性学」

「女性学が無くなる日まで」

前教師 高橋 みゆき

「館女生には『女性としてこうあるべき』という古い社会通念に縛られることなく、自分の人生を自分で選択して生きてほしい。」そんな願いから「館女の女性学」は生まれました。

二〇一八年の秋、教頭だった私は、教務主任の高橋美子先生、「探究」の係だった濱島万里子先生、赤井恵美子先生、高橋布美江先生と翌年から始まる「総合的な探究の時間」の準備を始めました。時間をかけて話し合った結果、地域社会、国、世界の様々な課題に気付き、解決に向けて考えられる力が大切なのではないかということになり、SDGsの17のゴールをテーマとして探究的な学びを進めていこうということになったのです。SDGsの中でもゴール5「ジェンダー平等」を基礎として学び、その視点を踏まえながら他のゴールについて考えるとという点が、「館女

の女性学」の特徴です。

しかし、当時SDGsについてはまだまだ認知度が低く、研究を進めている組織も多くはありませんでした。SDGsについて先進的に取組を進め、アドバイスをしてくれる組織を必死に探した結果、立命館大学の学生で構成されるSustainable Week実行委員会を見つけ、アドバイザリーになってもらえないかというお願いのメールを送り、しばらくしてSustainable Week実行委員会の顧問を務める上田隼也さんから承諾の返事をいただくことができました。後から聞いた話ですが、私のメールを受け取ったとき、大学生たちは想定外のことでも驚き、引き受けるかどうか皆で1週間くらい考えたそうです。遠く離れた県立高校にアドバイスすることなど自分たちにできるかどうか戸

惑ったということでした。しかし、上田さんが「この話は是非引き受けた方がいい。」と、大学生たちの背中を押ししてくれたようです。私のメールがボツになっていたら、その後の女性学の展開もまったく違うものになっていたと思いますので、本当に上田さんには感謝したいと思っています。早速、京都まで出かけて行き、彼らが企画したイベントに参加し、直接話をするのができたのが二〇一九年六月二十三日のことでした。その後はトントン拍子に話が進み、彼らが「館女の女性学」に与えてくれた影響は何物にも代え難いものがあります。とくに、その年の十二月に実施したSDGsスタディツアーでは、「女性学実行委員会」の生徒たちを大学に迎え入れていただきました。関西での数々の貴重な経験により、生徒たちは大きく成長することができたと思います。

一方、多くの著名人による講演会も「館女の女性学」の特色です。二〇一九年四月の東京大学の入学式の祝辞は一つの社会現象となり、祝辞を送った人物は「時の人」となっていました。東京大学名誉教授の上野千鶴子先生です。赤井先生が「教頭先生、上野先生を呼びましょう。」と私に耳打ちしました。県立高校が招へいするには大物すぎでありに大胆な人選です。先生の多忙なスケジュールと予算的にも夢のような話であると思いましたが、しかし、赤井先生の「女性学にびったりです。上野先生しかいません。」という言葉に突き動かされ、思い切ってメールを送ってみました。すると、驚いたことにすぐに先生ご本人から返信をいただいたのです。「高校でそのような教育をしているとは面白い。『女性学』という名前も気に入りました。行きます。」という内容でした。その後、大崎麻子先生、山中司先生、瀬谷ルミ子先生からも快諾いただき、素晴らしいリレー講演会が実現しました。何事も諦めずにチャレンジしてみるこの大切さを実感したような気がします。

このような経緯で始まった「館女の女性学」ですが、二年目に入り、さらに充実した取組が進められていると聞いています。館女生の持つ力は本当に素晴らしいと思います。昨年発表された各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数において、日本のスコアは0・652、順位は一五三か国中二二一位です。このスコアが1になったとき、ジェンダーギャップは無くなり、「女性学」は「人間学」になることでしょうか。「女性学」という言葉が無くなる日まで「館女の女性学」には頑張ってほしいと願ってやみません。



館女「女性学」シンボルマーク

現在の「館女の女性学」



探究 DAY 2021.3

令和二年十二月十五日に、進路の決定した三年生が後輩の二年生に進路実現に向けてのアドバイスを女性学の時間にしてくれました。終了後、群馬県立女子大学国際コミュニケーションシオン学部合格した三人からお話を聞きました。平田里菜さんは、AO入試で行ったプレゼンを披露したそうです。「自分は、大学側が求める人材にマッチするとアピールしました。将来は、まだ未定ですが、日本のジェンダー平等を考え学び続けていきたい」といいます。松浦香里さんは、SDGsの中の貧困

とジェンダー平等のことを学びたいことに関連付けて話してくれました。貧困のない平等な世界を考えたととき、やはり教育から取り組まなければと考え、そのことから学びたいと思ったそうです。コロナで家庭学習期間にスーダンの女性とネットで知り合い、平等な教育を目指したいと考え、将来はユニセフのようなところで働きたいと夢を話してくれました。最後に、小浜ゆみさんは、「飛び立て留学」のようなチャンスを生かし、ジェンダー平等の先進国であるアイスランドなどを視察し学びたいと話してくれました。将来は、空港のグラウンドスタッフとして働きたいそうです。

ポランティアなどに参加する機会もなく、このままでいいのだろうか。三年生になって、進路を決めるとき大丈夫なのかとても不安になります。「もっと情報を集めて何が出来るか、今からもっと勉強して早くいろんな事に挑戦したいです。」と意気込みを語ってくれました。三年生のエールが二年生に届いたようです。三年生は、これから館女を飛び立って自分の夢を実現させるためにどう行動していくのか、とても楽しみです。また、二年生にとっては、自分を見つめるとしても良い機会になったようです。先輩から後輩へ、館女の女性学はこれからますます発展していきます。



1学年 女性学

令和二年三月二日(月)より、令和二年六月二十二日(月)まで、館林女子高校は非日常の学校生活を送ることとなった。新型コロナウイルス感染症防止のため、安倍晋三首相より全国の学校に一斉休校の要請がなされた。三月二日は卒業式当日であった。本校では卒業生、卒業生の保護者(一名のみ)、在校生は送辞担当の生徒会長一名の参加となった。生徒会長が「寂しい卒業式」と語っていたが、卒業式中止した学校もある中で、館林女子高校はできる範囲で新同窓生の前途を祝福した。同窓会は卒業式予行の日の同窓会入会式、卒業式は會長のみの出席とする対応をした。入学式は予定通りに行われたが、この時も會長一人の出席となった。

四月当初に各学年とも登校日を設け、新年度の準備を行った。しかし、県からの通達もあり、生徒は四月二十日(月)から六月一日(月)に分散登校が始まるまで、家庭で学習に取り組むこととなった。職員も感染防止のため分散勤務となり、一同が顔を揃えることはなかなかできなくなった。家庭学習期間中は、各学年とも生徒に課題等を郵送したり、オンライン学習やオンラインでホームルームを行うなど、生徒とのつながりを持つように努めた。職員は何度もオンラインに関する研修を行い、技量の向上を図った。生徒が登校するようになり、職員は検温やアルコール消毒が日課となった。通常登校に戻った現在でも、生徒は毎朝検温し、熱が出ていなければ登校という指導を行っている。同窓会総会をはじめ、同窓生の活動の発表舞台である「友誼祭」等々、今年度中止に追い込まれた学校行事は枚挙にいとまがない。そうした辛い状況の中でも、生徒は元気に登校し、学習や部活動に熱心に取り組んでいる。(記 山口)



登校風景 (体調確認) 2020.6

コロナ下の学校生活

恩師の近況

「思い出」

須田 栄 一

(理科・昭和60・4〜平成9・3)

令和二年九月で喜寿を迎えました。七十歳になった時、頼まれて菩提寺の世良田山長楽寺、檀信徒会の副会長兼会計係を四年間続けました。今の仕事は、檀信徒会の顧問です。

二日お邪魔しました。館女には十三年未満お世話になったことになりました。私の教員生活の三分の一は館女になります。

館女での勤務は三十六年前の昭和六十年四月から平成九年三月までの十二年間でした。定年退職後、七十二歳まで、週二〜四日の非常勤講師として、あつちこつちへ頼まれ出かけていました。館女には平成十六年、六十二歳の時、週

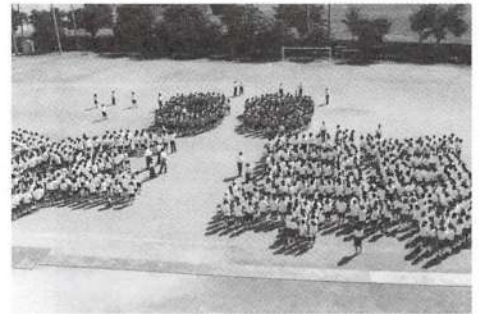
平成九年四月、県立赤城養護学校桐生分校という桐生厚生総合病院の中にある小・中併設の学校へ転勤となり、平成十六年三月に無事、定年退職できました。

館女に赴任した時の校長先生は、尊敬する奥澤義一先生でした。「遠い尾島町から来ていただいたんだ。好きなように授業をやってください」。着任早々こんなこと言われちゃうとついつい良い気になっちゃって、熱心にそして気楽に授業をやってました。

私の専門は理科で主に化学を担当していました。瀧川欣治学年主任の学年の話です。看護婦(師)志望が六十人ほどいました。それで、三年次の選択教科に生物を増やしました。ほぼ、目的の学校に進



強歩大会スタート



創立80周年 館女人文字

学したのではないだろうか。二十年前、人間ドックで左腎臓に癌が見つかり、大病院で手術を受けたのですが、この看護師さんに「お久しぶりです。」と声をかけられました。「泌尿器科の若い看護師だけでも館女出身が五人いますよ。」という、「病院全体では、五十人以上いると思いますよ。」とのことでした。年賀状に「コロナで大変です。」というのが沢山ありました。

皆さんが病院に行った時「館女卒ですか?」と聞いてみてください。注射も痛くないようにしてくれませんか。三年三組は南校舎のほぼ真ん中、北校舎の校長室からは真前にありました。その関係

で、校長室掃除が割り当てられていました。二期期の終業式が終わり、進路の決まった卒業アルバム係の生徒が教室で作業したいという。「お正月を迎えるんだから、終わったら、教室を掃除し、机をきちんと並べておいてね。」と言っておきました。四人が三日ほど作業していたようです。そして・・・正月三日、学校に金品狙いの純粋な泥棒が入り、事務室・校長室・職員室と狙ったのだろう。当然、非常ベルが鳴り、泥棒は三年三組を通り抜け、窓から校庭へ逃げたらしい。翌日、館林署

員が多数来て写真を撮って行った。事務長から、「教室がきれいに掃除されていて良かったよ。」とほめられました。「アルバム係ありがとう。」三年三組、褒めておくれ。合唱コンクールでも、球技大会でも優勝できなかった。だけど、日本赤十字社の献血車が来た時、献血の参加者数が学校で一番だったんだ。これは、担任が大学卒業時、大手運輸会社の関連病院でアルバイトをやっていた、輸血の重要性について話をしていたたまものだと思いました。三組バンザイ。

聖火リレー

見城美枝子さん、故郷を走る

東京五輪の聖火リレーが、三月三十日群馬県内で始まりました。館林市から前橋市までの七市町村計十八、八キロを九十一名のランナーで聖火を繋いだ。県内の第一走者となった同窓生の見城美枝子さんがつづけて丘公園の中を古里への感謝と東日本大震災の復興を願い、次世代へ引き継いでいくという思いを込め次のラ



聖火を手に笑顔で走る見城さん

「館女の思い出」

松下潤

子(国語・昭和60・4〜平成6・3)

私が館林女子高校に勤務したのは、一九八五年(昭和六十年)から一九九三年(平成五年)までの九年間でした。その間二回、持ち上がりで六年間担任をいたしました。勤務校としては二校目でした。三十歳代の九年間でしたので、仕事上の未熟さを痛感した時期もありました。四歳と一歳の子どもをかかえての転勤であり、私生活も多忙でしたが、いろいろなことを経験し、勉強する機会にも恵まれ幸せな時期でした。周囲の先輩先生方や同窓会の皆様から、励まされ助けられ、乗り越えることができた九年間でした。

特に印象に残っている行事は、三年六組を担当していた時の文化祭です。クラスとしての出し物を何にするか、何度も話し合いを重ね、「源氏物語の世界」と決めました。「源氏物語絵巻」から光源氏が我が子(「薫の君」)を抱いている五十日祝の場面と、光源氏が我が子と公に出来ない帝と対面している場面を拡大模



体育祭

写しました。前面の黒板と窓側面に貼り、その場面の説明も展示しました。委員長の荒井さんを中心に放課後、少々暗くなるまで描きました。完成した時の感動や達成感は、三十年後の今でも忘れることができません。クラスの団結力が強固になった瞬間でした。館女生の底力を実感した瞬間でもありました。今もその時の原画があります。館林女子高校の思い出として、担任の特権(?)として頂戴してしまったのです。後日談ですが、文化祭の拡大模写の一つ、光源氏と帝(実は血の繋がった父子)の対面図が、何と(!!)二千円札に使用されたのです。

勤務当時の館女は、学力向上を目標に課外授業や模擬試験等に力を入れていたので、生徒の皆さんはもちろんのこと、教師である私たちも

当時の三年六組の皆さんには「先見の明」があったのです。さすが(!!)館女生です。

二〇一二年に館女の学年同窓会が館林市内で行われました。当時の皆さんは三十七歳になり、美しく、逞しく、力強い女性になっていました。高校時代のあれこれを笑顔で話す顔・顔・顔を拝見しながら、おいしい料理を戴きながら、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。担任団の石井顕先生、前畑邦子先生、宇都野聡先生にお会いできたのも嬉しくて、思わず話に花が咲きました。当日の写真十一枚を拝見しながら、参加してくださった元館女生も、コロナ禍の現在、あの館女で身につけた逞しさと元気に過ごされていることと思



友誼祭

猛勉強をして臨みました。辛かったけれど振り返ってみると充実していた時代でした。館女勤務後二校を経験しましたが、三十代を過ごした館女での経験が基礎となり、四十代を過ごした某女子校、五十代を過ごした某男子校でも安心して無事に過ごす事ができました。

あつという間に定年を迎えて六年が過ぎようとしています。体力も気力もある内に、旅行とかハイキングとか登山とか、楽しもうと思っていましたが、このコロナ禍で思うように行動できず、忸怩たる思いです。昨年八月十一日、山の日に荒船山に登って来ました。頂上から眺めた浅間山の雄姿に心躍らせました。日光小田原や湯ノ湖周辺、西ノ湖、刈込湖周辺などへも、お弁当を持って出かけました。自然を満喫しながら身体を動かすことで、気持ち前向きになるような気がします。気持ちがあつあつした時には出かけることにしています。

ウイズコロナで先の見えない不安定な時代ですが、同窓会の皆さま、関係者ご一同さまのご多幸をお祈り申し上げます。

文化祭 (友誼祭) 作品募集のご案内

1. 日時 令和3年7月9日(金)~10日(土)
2. 会場 館林女子高校 大会議室 (北校舎2階東側)
3. 内容 同窓生作品展
4. 作品募集 絵画、工芸品、手芸品、書、生け花等の自作品
5. 作品搬入 7月8日(木) 13:30~17:00
6. 作品搬出 7月10日(土) 15:30~17:00 (搬入・搬出ともに、この日時で不都合な場合は、ご連絡ください。個別に対応させていただきます。)
7. 申込み方法 学校事務局へ直接お申し込みください。(卒業年度、ご住所、お電話番号、作品の種類、大きさ等、お知らせください。後日、係よりご連絡を差し上げます。)
8. 申込み締め切り 6月30日(水) 17:00まで
9. お問い合わせ 館林女子高校 同窓会事務局 同窓会係(島田・山口) TEL 0276-72-0139 FAX 0276-72-7112

*友誼祭の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を考えて計画しております。今後の状況を見ながらの対応となります。お申し込みいただいた同窓生には、直接お電話でお知らせします。そのほかの方には、学校のホームページに掲載しますので、ご確認をお願いします。

「思い出」

武田 千明 (英語・平成6・4～平成11・3)

教師としての一步を踏み出したのが、館林女子高校(平成六(十一年)でした。今になって振り返ってみると、経験も実績もほとんどない新任教員の授業を当時の生徒たちはどのように感じていたのかと考えると、顔から火が出る思いです。それでも、若く、生徒に共感する部分が多いということだけを頼りに、なんとか五年間を過ごしたように思います。

その中で一番印象に残るのは、ニュージールランドへの語学研修引率です。このプログラムは現在も継続している、館林女子高校独自の学校行事ですが、当時、私を含め、まだ経験の少ない二人の女性教諭が引率担当ということで、管理職をはじめとする多くの先生方に心配していただいた記憶があります。ALTも交えての事前研修に始まり、旅行社の方々と連携しながら、参加生徒と同様に少しの不安と抱えきれないほどの期待とともに出発しました。生徒た

ちにはホームステイの体験と提携高校での語学研修で、語学力を高めるとともに異文化の理解を深めました。私たち引率教諭も同様に提携高校の先生方の自宅に数日間ではあります、各々ホームステイをさせていただき、友好を深めることができました。ほとんどの生徒が初めての海外渡航でしたが、自分の英語力だけを駆使して、ホストファミリーや現地の方々とコミュニケーションをとろうとする前向きな姿に、引率した私たちも勇気と感動を与えられました。研修期間を通して、生徒と一



NZ 語学研修交流の様子

緒にアクティビティや観光に参加し、かけがえのない体験をすることができました。

この他にもクラス担任、部活動顧問や生徒会担当として様々な生徒と関わり、指導する立場ではありながら、私自身の方が学び得ることの多かった五年間でした。現在も教職に携わることができているのも、館林女子高校での経験が糧となり、また自信になったと感じています。同僚をはじめとする職員の方々はもちろん、生徒一人ひとりに感謝の意を表したいと思います。

母校へ製氷機2台寄贈

令和三年二月、同窓会は母校に製氷機二台を寄贈しました。今までの製氷機が、購入後二十年以上過ぎ衛生的にも機能的にも問題が生じたため、新型コロナウイルス感染症のこともあり、生徒の健康を考え、本部役員会で協議した結果、会より寄贈することになりました。

館林市は、以前より夏の暑さで熱中症も心配です。生徒達が、安心して部活動に取り組めることと思います。これからも、後輩達を応援して行きたいと思えます。



母校に本を寄贈!!

昭和三十三年卒業の高橋(旧姓、藤本)キンさんが、自著本「戴帽式」とCD「アムール哀歌」を母校に寄贈してくださいました。高橋さんは、看護師として長い間、ご活躍なさっていた方です。ご自身の体験を詠んで様々な賞

をお受けになりました。寄贈されました本とCDは、母校の図書館に置かれ、生徒との出会いを待っています。

白鳥の夜半を鳴き交はしふる声に故の知れざる悲しみはくる
高橋さんが、故郷の城沼の白鳥を見たことを詠まれたものです。



行事計画(案)

令和3年度	令和4年
4月 8日(木) 入学式	1月 初旬 本部役員会 (同窓会入会式・今後の予定について)
4月 14日(水) 開校記念日	2月 28日(月) 同窓会入会式
5月 16日(金) 本部役員会	3月 1日(火) 卒業証書授与式
5月 28日(金) 本部役員会	
6月 5日(土) 同窓会総会 (資料送付)、 会報発行	
6月 下旬 本部役員会	
7月 9・10日(金・土) 友誼祭	
7月 中旬 本部役員会	
10月 中下旬 本部役員会	
11月 5日(金) 創立百四周年開校記念式典・講演会	

*各部活動の定期演奏会・発表会・作品展等への後援につきましては、今年度も例年通り補助いたします。
*新型コロナウイルス感染症対策のため、各部の行事日程は変更されることもあります。

茶道部のこと

令和二年度から全学年五クラスとなり、部活動の再編が行われました。その中で、茶道部員最後の一人となった三年生が、七月で引退し受験勉強を始めため、廃部となりました。

『館女六十年史』によりまずと、館女は大正六年四月に開校されたのですが、大正十二年には茶華道という授業が行われていました。大正十二年五月から昭和十二年六月まで小倉多賀治先生、昭和十二年八月から十七年三月まで山田みよし先生、十七年三月から二十一年四月まで川村なか先生が指導されてきました。正式に創部されたのは昭和二十八年度のことで、それまでは授業の中に位置づけられていました。

創部当時は茶華道部ということで、茶道を中村ヒサ先生、華道を川村なか先生が指導されました。その後、茶道を白石共子先生が（昭和五十年から）、華道を川村すみお先生が（昭和三十二年から、お二人とも平成六年三月まで）指導に当たってくださいました。

茶道も華道もそれぞれ二十三十人の部員数になり、白石先生と川村先生のお二人で相談なさって、当時の山崎ケイ教頭にお願ひし、昭和五十一年度に茶道部と華道部に正式に分かれました。

茶道部は、平成六年度から千本木文枝先生、平成十七年度から昨年廃部となるまでを高橋裕子先生がご指導してくださいました。

創部当時は、校外活動で足利行道山を登ったり、アメリカンハイスクールレスリング部交換会でお点前を披露した事もありました。大日本茶道学会の茶会（前橋、桐生、太田等）へ参加したり、秋元様別邸（現つづじ会館）でのお茶会を開いたりしました。また、ご指導頂いている先生方の茂林寺での茶筌供養にもお手伝いとして参加しました。

同窓会館で開かれた、文化祭でのお茶席や初釜のお茶席は、在校生や職員にも評判で楽しみにされていた方が大勢いました。文化祭では、同窓生や保護者の方からもとてもいい雰囲気です素晴らしかったと感想も頂いていました。

館女で白石先生と二緒に茶道部の顧問をされていた飯塚善子先生は、「運動部の合宿所にも使われていた同窓会館で、布団を端の方に寄せてお稽古をした事を思い出します。」とおっしゃっていました。

六十六年間という長い茶道部の歴史の中で、活動をされていた卒業生が何人もいたことでしょう。同窓会館には、今も茶釜と茶器がひっそりと置かれています。そこだけ時間が止まっているようで寂しい気持ちになります。時代の流れで仕方のないことと思いますが、文化祭の時に同窓生の方が、お茶席を設けて戴きましたら嬉しいのですが、しんどいとした同窓会館の茶室でそんなことを考えていました。（記 島田）



菖蒲茶会 (2018.5 同窓会館)

退転任・新任職員の紹介 (敬称略)

〔退、職〕	長谷川 充 校長	〔転、入〕	和泉 昇 校長
〔転、出〕	岸みどり 家庭 (地公臨)	菊地 隆 事務長	桐生市立商業高校
萩口 勝男 事務長	〔太田フレックス高校〕	毒島 孝次 理科	〔太田フレックス高校〕
泉 則子 保体	〔太田フレックス高校〕	清水 真弓 保体	〔桐生女子高校〕
原田 達也 国語	〔太田東高校〕	下城 えみ 英語	〔板倉高校〕
藤井佳津枝 理科	〔新田晩高校〕	坂本 将 音楽	〔前橋西高校〕
今井 亮臣 理科	〔県教育委員会事務局〕	瀧本 大仁 国語	〔県教委義務教育課〕
石井 千裕 英語	〔前橋女子高校〕	唐沢 萌生 国語	〔桐生西高校〕
棚澤 沙織 英語	〔桐生清桜高校〕	田口 裕亮 英語	〔新採用〕
本間 智子 国語	〔中央中等教育学校〕	眞松 貴子 養護	〔市立太田高校〕
古澤 咲希 養護	〔前橋南高校〕	酒巻 千織 国語	〔地公臨〕
石井英梨絵 英語	〔地公臨〕	谷津由香里 理科	〔地公臨〕
中村悠理乃 国語	〔地公臨〕	〔新採用〕	
田沼 昌紀 音楽	〔地公臨〕		
	〔しろがね特支〕		

編集後記

いつものように春になり、桜が咲き、新緑を迎え、風が心地よい季節になりました。が、新型コロナウイルス感染症のため今年も総会が開催できません。それでも時間は流れ、日々が過ぎていきます。このような閉塞感のなかにあっても、館女生は前向きに頑張っています。私も生徒達に負けないよう、同窓生の皆さまのお手元に会報が届けられるよう、会報作りに取り組みました。行事が無くなってしまった分、恩師の近況や館女の女性学のことを記事にしました。

同窓生の皆さまもお家時間が増えたことで、日常の工夫や楽しみ方など、変化があったのではないのでしょうか？ぜひ、同窓会報に投稿してください。アイデアだけでも歓迎します。笑顔でお会い出来る日を楽しみにしています。（記 島田）

令和3年度入試の合格校等一覧

【四年制大学】

【国公立大学】

学校名等	分類	合格者数
群馬	国大	3
山形	国大	1
新潟	国大	1
静岡	国大	1
群馬県立女子	公大	7
群馬県立県民健康科学	公大	2
前橋工科	公大	1
国公立大学計		16

【私立大学】

学校名等	分類	合格者数
桐生	私大	3
群馬パース	私大	1
上武	私大	1
高崎健康福祉	私大	5
高崎商科	私大	1
東京福祉	私大	7
足利	私大	1
国際医療福祉	私大	1
自治医科	私大	1
獨協医科	私大	1
白鷗	私大	1
浦和	私大	1
共栄	私大	5
埼玉工業	私大	3
十文字学園女子	私大	5
女子栄養	私大	1
西武文理	私大	1
東京国際	私大	3
東都	私大	3
獨協	私大	11
日本医療科学	私大	2
人間総合科学	私大	3
文教	私大	5
文京学院	私大	1
明海	私大	1
ものづくり	私大	2
江戸川	私大	1
川村学園女子	私大	1
帝京平成	私大	3
北里	私大	1

学校名等	分類	合格者数
共立女子	私大	1
実践女子	私大	2
順天堂	私大	1
昭和女子	私大	3
成蹊	私大	3
清泉女子	私大	1
大東文化	私大	6
帝京	私大	1
帝京科学	私大	1
東海	私大	1
東京家政	私大	2
東京経済	私大	1
東京工科	私大	1
東京女子	私大	1
東京電機	私大	1
東京未来	私大	2
東洋	私大	4
日本	私大	1
日本女子	私大	2
日本体育	私大	2
立正	私大	9
神奈川	私大	1
龍谷	私大	2
関西福祉科学	私大	1
徳島文理	私大	1
私立大学計		127
四年制大学計		143

【短期大学】

学校名等	分類	合格者数
育英短大	私短大	2
新島短大	私短大	2
足利短大	私短大	1
國學院大栃木短大	私短大	2
佐野日本大学短大	私短大	7
埼玉医科大短大	私短大	1
埼玉純真短大	私短大	2
埼玉東萌短大	私短大	3
大妻女子大短大部	私短大	2
目白大短大部	私短大	1
女子美術大短大部	私短大	1
短期大学計		24

【専修各種学校】

学校名等	分類	合格者数
太田高等看護学院	専門	5
館林高等看護学院	専門	8
東群馬看護専門学校	専門	3
太田医療技術専門学校	専門	2
太田情報商科専門学校	専門	2
中央医療歯科専門学校	専門	1
前橋医療福祉専門学校	専門	1
足利製菓専門学校	専門	1
足利デザイン・ビューティ専門学校	専門	5
宇都宮ビジネス電子専門学校	専門	1
大宮子ども専門学校	専門	1
大宮ビューティ&ブライダル専門学校	専門	5
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	専門	2
東部医療技術専門学校	専門	1
大原法律公務員専門学校	専門	1
大原簿記情報ビジネス専門学校	専門	1
資生堂美容技術専門学校	専門	1
東京アナウンス学院	専門	1
東京観光専門学校	専門	2
東京スイーツ&カフェ専門学校	専門	1
東京墨田看護学校	専門	1
東京ダンス&アクターズ専門学校	専門	1
東京デザイナー学院	専門	1
東京デザイン専門学校	専門	1
専修各種学校計		49

【就職】

企業名	分類	就職者数
邑楽館林農業協同組合	就職	1
ニプロ医工株式会社	就職	1
警視庁	就職	1
就職計		3

